



2025年1月23日

報道関係 各位

報道解禁日時

【テレビ・ラジオ・WEB】

2025年2月3日(月)午前6時以降

【新聞】

2025年2月3日(月)朝刊以降

名古屋市立大学病院
肝・膵臓内科 助教 加藤 晃久

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター
消化器内科 教授 林 香月

名古屋大学医学部附属病院
消化器内科 助教 山雄 健太郎

名古屋市立大学病院・名古屋大学医学部附属病院が協力する新たな健康支援事業
～名古屋市、政令市初となる公費負担での腹部超音波スクリーニング検査を開始～

名古屋市立大学病院と名古屋大学医学部附属病院、および関連病院は、名古屋市が2025年2月より実施する腹部超音波スクリーニング検査補助制度において診療体制を支える役割を担います。本事業は全国の政令市では初となる先進的な取り組みであり、市民の健康促進と病気の早期発見・早期治療を目指しています。

【名古屋市立大学病院・名古屋大学医学部附属病院の役割】

本学は、腹部超音波スクリーニング検査において「要精密検査」と判定された市民に対し、精密検査や専門診療を提供する体制を構築しています。特に、肝臓、胆道、膵臓、腎臓など検査対象となる臓器に関する専門性を活かし、無症状の段階で疾患を発見し、早期治療に結びつけることを目指します。

【腹部超音波検査の意義】

腹部超音波検査は、身体への負担が少ない安全な検査でありながら、肝臓、胆のう・胆管、膵臓、腎臓など複数の臓器を観察できる高い汎用性を有しています。がんやその他の疾患を早期に発見することで、より迅速かつ適切な治療が可能になります。

【本補助制度の特色】

名古屋市ではこれまで、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がん、前立腺がんの「500円ワンコイン検診」を実施してきました。しかし、市内における部位別がん死亡数上位の中で、膵臓(4位)、肝臓(5位)、胆のう・胆管(7位)のがんに対する自治体の対策は未実施です。これらのがんは、検出率の高い簡易的な検査方法がないため、対策型検診としての実施が困難とされています。



今回補助対象となる腹部超音波検査は、高いがん検出率を誇るものではないものの、複数の臓器を観察できるため、各臓器のがんを一定数発見できるとともに、検査が身近になることで市民の健康意識向上も期待されています。

【制度の概要】

- ・対象者：名古屋市内在住の 50 歳以上の市民
- ・費用：1 回 500 円（ワンコイン）
- ・開始時期：2025 年 2 月 1 日
- ・実施場所：名古屋市内の協力医療機関

※「要精密検査」と判定された場合、速やかに精密検査が可能な医療機関*と連携する体制を整えています。

* 名古屋市立大学病院、名古屋大学医学部附属病院およびそれらの関連病院、または精密検査が実施可能な中核医療機関

【取材のお願い】

本制度はすでに名古屋市からメディアを通じて報道いただいておりますが、より多くの市民へ広く周知し利用していただくため、本格的な始動となる 2025 年 2 月 3 日（月）（開始日 2 月 1 日は土曜のため）に、私達医療者側からも再度発信したいと考えています。違った角度から分かりやすく発信できると思いますので、メディアの皆さまには、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

名古屋市立大学 病院管理部経営課

愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

TEL : 052-858-7116 FAX : 052-858-7537

E-mail : hpkouhou@sec.nagoya-cu.ac.jp

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター病院管理部経営課

愛知県名古屋市千種区若水一丁目 2

TEL : 052-721-7171 FAX : 052-721-1308

E-mail : emckeiei@med.nagoya-cu.ac.jp

名古屋大学医学部・医学系研究科総務課総務係

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

TEL : 052-744-2228 FAX : 052-744-2785

E-mail : iga-sous@t.mail.nagoya-u.ac.jp